

問題

企業会計において報告される計算書に関する次の問いに答えなさい。

(1) 損益計算書の意義について説明しなさい。また、そこで報告される以下の各項目について、具体的な勘定項目を挙げながら説明しなさい。

- ① 営業利益
- ② 経常利益
- ③ 当期純利益

(2) キャッシュ・フロー計算書の意義について説明しなさい。また、そこで報告される三つのキャッシュ・フローについて、具体例を挙げながら説明しなさい。

解答のポイント

(1) の損益計算書の意義などについては、基礎的事項からの出題であり、ある程度記述してもらいたい。具体的な勘定科目を最低一つずつは書きたいところである。(2) は難易度の高い論点であり、意義や3つのキャッシュ・フローの名称だけでも書ければ十分であろう。

解答例

(1) 損益計算書とは、企業の一会計期間における経営成績を明らかにするための財務諸表の一種である。企業会計原則では、「損益計算書は、企業の経営成績を明らかにするため、一会計期間に属するすべての収益とこれに対応するすべての費用とを記載して経常利益を表示し、これに特別損益に属する項目を加減して当期純利益を表示しなければならない。」と規定している。

①営業利益とは、売上高から売上原価を控除して求めた売上総利益から、さらに、販売費及び一般管理費を控除した差額である。販売費及び一般管理費には、例えば、給料、減価償却費などが該当する。

②経常利益とは、営業利益に営業外収益を加え、営業外費用を控除した差額である。営業外収益及び営業外費用には、例えば、利息及び割引料、有価証券売却損益その他営業活動以外の原因から生ずる損益であって特別損益に属しないものが該当する。

③当期純利益は、経常利益に特別利益を加え、特別損失を控除して求めた税引前当期純利益から、さらに、当期の負担に属する法人税額、住民税額等を控除した差額である。なお、特別利益及び特別損失には、例えば、固定資産売却損益や災害損失などが該当する。

(2) キャッシュ・フロー計算書は、企業の一会計期間におけるキャッシュ・フローの状況を報告するための財務諸表である。

キャッシュ・フロー計算書が対象とする資金（キャッシュ）の範囲は、現金及び現金同等物である。

現金とは、手許現金及び要求払預金をいう。要求払預金には、例えば、当座預金、普通預金、通知預金が含まれる。現金同等物とは、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない短期投資をいい、例えば取得日から満期日または償還日までの期間が3か月以内の短期投資である定期預金、譲渡性預金、コマーシャル・ペーパー、売戻し条件付現先、公社債投資信託

が含まれる。

キャッシュ・フロー計算書には、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローの区分がある。

営業活動によるキャッシュ・フローの区分には、営業損益計算の対象となった取引のほか、投資活動及び財務活動以外の取引によるキャッシュ・フローを記載する。具体的には、商品及び役務の販売による収入、商品及び役務の購入による支出、従業員及び役員に対する報酬の支出、災害による保険金収入、損害賠償金の支払などのほか、法人税等に係るキャッシュ・フローなどが該当する。

投資活動によるキャッシュ・フローの区分には固定資産の取得及び売却、現金同等物に含まれない短期投資の取得及び売却等によるキャッシュ・フローを記載する。具体的には、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出、有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入、有価証券（現金同等物を除く）及び投資有価証券の取得による支出、有価証券（現金同等物を除く）及び投資有価証券の売却による収入、貸付けによる支出、貸付金の回収による収入などが該当する。

財務活動によるキャッシュ・フローの区分には、資金の調達及び返済によるキャッシュ・フローを記載する。具体的には、株式の発行による収入、自己株式の取得による支出、配当金の支払い、社債の発行及び借入れによる収入、社債の償還及び借入金の返済による支出などが該当する。

以上
(1,373 字)

TAC 生はココで解けた！

(1) は TAC 会計学記述対策レジュメ P.77 問題 27, (2) は同教材 P.81 問題 29 に類題が掲載されており, ここを確認していた TAC 生は解答できたはずである。